

# 病害虫防除技術情報第 17 号

令和 8 年 2 月 6 日

三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類の越冬量が多い状況です。  
春からの越冬個体の飛来に注意してください。

1 対象作物: 果樹類(ウメ、ナシ、カンキツ、ビワ等果樹類)

2 対象病害虫名: 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)

3 発生状況

(1) 令和 8 年 1 月に行ったチャバネアオカメムシの越冬量調査では、4.6 頭／地点  
(平年 2.6 頭／地点)と多い状況です。

※1 地点: 3m<sup>2</sup>

(2) 令和 8 年 1 月に行ったクサギカメムシの越冬量調査では、70.3 頭／地点(平年 34.4 頭)と多い状況です。

(3) 3か月予報(1月 20 日・名古屋地方気象台発表)によると、2 月から 4 月の気温は期間後半を中心に高くなる見込みで、果樹カメムシの園地への飛来が早くなる可能性があります。

4 防除の注意事項

(1) 飛来数は、ほ場による差が大きい傾向があります。気温の上昇など気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。

(2) 過去に飛来が多かったほ場では特に注意してください。

(3) 夜間の照明等への飛来を参考にし、ほ場で飛来を確認したら防除を実施してください。

(4) 果樹カメムシ類は日没後に活発に飛翔するため、薬剤散布は午後から夕刻、または早朝に行うと効果が高くなります。

(5) 近隣ほ場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。

(6) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。

(7) 薬剤は農薬登録情報提供システムで調べることができます。

農薬登録情報提供システム: <https://pesticide.maff.go.jp/>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。